

北海道胆振地震現地調査と台風24号による被害について

緊急報告



2018年9月6日3時7分(JST)に北海道胆振地方にてMw6.6(震度7)の地震が発生しました。この地震によって、札幌市里塚地域で液状化、胆振地方では大規模な斜面崩壊に伴って家屋・構造物等の災害が発生し多くの人命が失われました。琉球大学島嶼防災研究センターでは、併任教員およびJSCE岩盤動力学研究小委員会の合同調査団として現地に派遣し、地震被害調査を実施し、また、今年度の最大級の台風24号による被災についても被害調査を行いましたので、緊急報告会を開催致します。万障お繰り合わせの上、ご出席下さい。

日時：平成30年11月19日(月)
13:20~15:20

会場：琉球大学地域創生総合研究棟1F産学官交流フロア

プログラム：

司会：伊東 孝(島嶼防災研究センター・工学部・教授)

13:20 ~ 13:25 工学部長 有住康則教授の挨拶

13:25 ~ 13:50 北海道胆振地震の地震学および地震工学的特徴
藍檀 オメル(島嶼防災研究センター・工学部・教授)

13:50 ~ 14:10 北海道地震による地盤・斜面の被害
岩田直樹(中電技術コンサルタンツ)

14:10 ~ 14:20 休憩

14:20 ~ 14:35 北海道地震による家屋・構造物の被害と教訓
渡嘉敷直彦(地殻工学防災研究所 所長)

14:35~15:05 台風24号による被害
カストロ ホワンホセ(島嶼防災研究センター・工学部・教授)

15:05~15:20 全体討議